

# 平成27年度 第5回仙台市環境審議会

## 議事要旨

日時：平成28年1月19日（火） 10:00～11:35

場所：仙台市役所本庁舎2階 第一委員会室

### I 次第

#### 1 開会

#### 2 議事・報告事項

(1) 「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」改定答申案について

(2) 「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定答申案について

#### 3 閉会

### II 出席委員数

出席 23名

欠席 6名

### III 議事要旨

|             |   |
|-------------|---|
| 司会          | 「議事・報告事項」に入る。議事進行については、「仙台市環境審議会の組織及び運営に関する規則」第5条第1項に基づき、西村会長にお願いする。  |
| 議長（西村修会長）   | 初めに、議事録署名について確認させていただく。<br>議事録の署名については、「会長と出席委員1名の署名をもって正式な議事録とする」こととしている。前回は佐藤わか子委員にお願いしたので、今回は50音順で佐野好昭委員にお願いしたいが、いかがか。                     |
| 佐野好昭委員      | 了承。   |
| 議長（西村会長）    | それでは、議事・報告事項に入る。議事・報告事項(1)「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）」改定答申案について、事務局より説明いただく。   |
| 事務局（環境企画課長） | 資料1-1、資料1-2、「仙台市環境基本計画の改定について（答申）」について説明  |
| 議長（西村会長）    | ただいまの事務局からの説明に関連し、本日欠席されている吉岡委員より、環境プランの部門別計画である「一般廃棄物処理基本計画」改定の検討状況について報告したい旨連絡を受けているので紹介する。<br>(報告内容)<br>最新の人口推計を採用した結果、ごみの排出量がさらに増加する見込となっ |

|             |  |
|-------------|--|
|             | たが、目標数値は据え置き、排出量増加分を上乗せして削減する内容とし、廃棄物対策審議会です承した。   |
| 議長（西村会長）    | それでは、「仙台市環境基本計画（杜の都環境プラン）の改定について」意見を伺う。  |
| 赤井仁志委員      | 答申案のなかに図3、図21、図25があるが、これは一般的には「表」であり、そのように整理すべきではないか。また、図の表題の位置を仙台市地球温暖化対策推進計画とあわせてはどうか。   |
| 事務局（環境企画課長） | 図表の扱いについては、現行の杜の都環境プランを踏襲させていただいた。冊子の作成の際にあらためて検討したい。  |
| 永幡幸司委員      | 答申案38ページの定量目標は、「達成している場合には、より良好な状態に保持します」と書かれているが、「保持」とは、そのままの状態を保つことであるから、「より良好」という上に行く表現と並ぶことに違和感がある。例えば「より良好な状態を目指します」といった表現にしてはどうか。  |
| 事務局（環境企画課長） | この目標は、今回改定対象としていなかったものだが、設定当時は、基準を上回る良好な状態を維持し続けようとの意図があった。  |
| 佐藤わか子委員     | では、「より良好な状態を維持します」との表現が素直ではないか。  |
| 事務局（環境企画課長） | 「より良好な状態を維持します」と表現させていただきたい。   |
| 伊藤卓雄委員      | 答申案22ページの、建築物に対して「エネルギー性能の高い」という表現を使っているが、エネルギーをつくり出す発電機等と結びついてしまう。建築物については、「器の性能」という広い概念に基づいているという注釈があるとよい。   |
| 事務局（環境企画課長） | プラン本体の表現としてはこのままとするが、冊子の作成の際は説明を工夫したい。   |
| 工藤治夫委員      | 温室効果ガス排出量の定量目標に、「国の目標を5ポイント上回る」という表現を入れたことは分かりやすく、仙台市としてアピールする目玉となり、非常に評価できる。  |
| 花輪公雄副会長     | 答申案の添書について、附帯意見1に、「仙台市においても、環境部門が強いリーダーシップを発揮するとともに」という文言があるが、この「環境部門が強いリーダーシップを発揮するとともに」に違和感がある。後ろに「市政全体で」と続くことから、この文言は不要ではないか。<br>附帯意見3の「長年にわたりつくりあげられた」という文言は、本文では「創」の漢字を使っており統一すべきだ。また「環境を大事にする市民の取り組み」については、後段で、「市民・事業者等」とあることから、「環境を大事にする市民・事業者等の取り組み」としてはどうか。 |
| 工藤委員        | 附帯意見1については、「環境部門が強いリーダーシップを発揮する」とい   |

|             |  |
|-------------|--|
|             | う文言は必要ではないか。   |
| 議長（西村会長）    | <p>花輪副会長から意見のあった箇所について、まず、附帯意見3の「環境を大事にする市民の取り組み」の文言のうち、「市民」を「市民・事業者等」とすることについてはいかがか。</p> <p>（了承の声あり）</p> <p>では、この箇所はそのように修文する。</p> <p>続いて、「長年にわたりつくりあげられた」の文言について、平仮名の「つくり」を、「創り」とすることについてはいかがか。</p> <p>（了承の声あり）</p> <p>では、この箇所はそのように修文する。</p> <p>最後の附帯意見1の「環境部門が強いリーダーシップを発揮するとともに」について、捉え方は様々あると思うが、他に意見はないか。</p> |
| 中静透副会長      | <p>文言は入れておきたい。これまで仙台市は環境先進都市として歩んできたと理解しているが、最近、環境面での取り組みが後退気味だと感じている。</p> <p>温暖化対策専門部会の議論でも、環境への配慮を経済のマイナス面と捉えるだけではなく、むしろ新産業の創造も視野に入れて取り組んでいくべきだという意見があり、「環境部門が強いリーダーシップを発揮する」との文言をあえて入れることは、環境審議会からの良いメッセージと考える。</p>   |
| 永幡委員        | <p>この部分は入れたほうが良いと考えるが、後ろを「するとともに」とするかどうかは議論が必要だ。</p> <p>すなわち、市政全体で環境政策の推進に取り組む場合に、それぞれの部門に対して環境部門が強いリーダーシップを発揮していくことを求めるのであれば、例えば、「環境部門の強いリーダーシップのもと、市政全体で環境施策の推進に取り組んでいく」としたほうが適切だ。</p>   |
| 事務局（環境企画課長） | <p>これまでの本審議会や温暖化対策専門部会の意見を踏まえ、環境部門のリーダーシップが求められている観点と、環境部門だけでなく市政全体で取り組むべきとの観点を並べて表現したものである。</p>   |
| 佐藤わか子委員     | <p>何に対して「強いリーダーシップ」を発揮するのかを考えた場合、原案の表現ではおかしい。「強いリーダーシップを発揮し」にして、「市政全体で」の文章につなげたほうがわかりやすい。</p>  |
| 工藤委員        | <p>これからの時代、環境という立場に立って行政を進めてもらう必要がある。佐藤わか子委員の修正意見はシンプルで良いのでは。</p>  |
| 渡邊浩文委員      | <p>花輪副会長のご指摘は、この文言が必要かということまで含めた意見であり、確かに一般的な答申よりも踏み込んでいる感じはする。しかし、震災後、仙台は防災環境都市を目指すことで世界的に認知されており、あえて踏み込んで書いても良いのではないか。ただし、リーダーシップですので並列ではなく、</p>   |

|                 |  |
|-----------------|--|
|                 | 「先導していく」というニュアンスの表現のほうがよい。   |
| 工藤委員            | 環境部門がリーダーシップを発揮する際には各部門との摩擦も生じるため、素直に表現し、市長のリーダーシップを期待してはどうか。  |
| 議長（西村会長）        | 花輪副会長の意見のように、「環境部門が強いリーダーシップを発揮する」を除いた状態、例えば建築の政策のすべてに環境が当然のように織り込まれているなどが理想だが、そこに行くまでのステップとして、「環境部門が強いリーダーシップを発揮する」ことは必要ではないか。ただし、修文としては「強いリーダーシップを発揮し」に改め、「市政全体で」につながる文章としたい。最終的な調整はご一任いただきたい。 |
| 吉澤友秀委員(坂川勉委員代理) | 附帯意見1について、「環境を強く意識した持続可能なまちづくり」と表現しているが、温暖化対策は広いことから「社会」としてはどうか。あるいは答申案で用いている「都市づくり」にあわせてはどうか。   |
| 議長（西村会長）        | 「都市づくり」に修文させていただく。   |
| 奥村誠委員           | 答申案14ページに、「気候変動の影響に対し、「緩和」と「適応」の両面から対策を」とあるが、ここは「緩和策」「適応策」とすべきではないか。<br>また、「負荷の少ない」という表現が多くあるが、負荷は「小さい」と表記すべきではないか。  |
| 議長（西村会長）        | 検討のうえ修正したい。  |
| 若狭久美子委員         | 答申案は、全体的に空白が目立つ。章の区切り等は必要だが、構成を工夫してはどうか。   |
| 事務局(環境企画課長)     | 最終的に冊子とする段階では、スペースを無駄にすることなく、図の大きさ等も含めて調整したい。  |
| 議長（西村会長）        | 時間の関係もあるので、プラン答申案及び附帯意見の修正についてはご一任いただき、事務局と調整の上答申したいが、よろしいか。<br>(了承の声あり)<br>では、そのようにさせていただく。<br>次に、議事報告事項(2)「仙台市地球温暖化対策推進計画」改定答申案について、事務局より説明をお願いする。   |
| 事務局(環境企画課長)     | 資料 2-1~2-3、「仙台市地球温暖化対策推進計画の改定について(答申)」について説明   |
| 議長（西村会長）        | 専門部会の部会長である中静副会長から補足をお願いする   |
| 中静副会長           | パブリックコメントでの意見を踏まえた修正に加え、どのようにしたら市民あるいは事業者に対し、温暖化への取り組み方がわかりやすくなるか、また、防災と省エネを組み合わせた仙台らしい取り組みを打ち出すべきなどの専門部会での意見も取り入れ答申案をとりまとめた。内容はより良くなったと考えているが、皆様の意見を頂戴したい。                                      |

|              |  |
|--------------|--|
| 議長（西村会長）     | これについて意見を伺う。   |
| 吉澤委員（坂川委員代理） | 答申の添書について、会長名の表記や段落の構成は、環境基本計画の表現と統一していただきたい。  |
| 議長（西村会長）     | 修正したい。   |
| 伊藤卓雄委員       | 附帯意見3で、「国や県等との連携により、温室効果ガス排出量削減と」の後に、唐突に「経済成長の両立」の言葉が出てくる。「経済成長」という言葉からは、国レベルの話を思い浮かべてしまうので、あくまでも地域でお金が回ることが基本だと強調してほしい。 |
| 事務局（環境企画課長）  | 例えば、「経済成長」の文言を「地域経済の発展」としてはいかが。  |
| 議長（西村会長）     | 事務局が提案した文言により修文したい。  |
| 工藤委員         | 市長に対する答申としては、総体としてはこれで良いと考える。地域の中で経済発展に繋がるスタンスが鮮明になる修正は良いと思う。  |
| 赤井委員         | 66ページの「コラム 断熱性の高い住宅は健康にもつながる！」について、内容には間違いはないが、諸外国の例を見ると、これにより格段に死亡事故が減るかということ、そうでもないように見受けられる。専門家が見た場合、異論が出るおそれはないか。    |
| 事務局（環境企画課長）  | このコラムは、専門家から意見を伺う中で、現在、進められている研究の情報として掲載したものである。直接、施策としては書き込めないが、環境の観点のほかの観点からも効果があることを紹介したいという趣旨で掲載した。                  |
| 赤井委員         | リード文が「入浴中に亡くなっている」と表記しているため、これを捉えて勘違いされる懸念がある。   |
| 工藤委員         | 「断熱性の高い住宅は健康にもつながる」との表現は確かに短絡的だが、断熱性の高い住宅は省エネルギーになるうえ、住宅の中の温度差も平均化される。タイトルを工夫すれば良いのでは。                                   |
| 中静副会長        | 問題なのは、最初の2行に入浴に関するセンセーショナルな事例が来ているため、このコラム全体が入浴のことを強調し過ぎている点である。<br>例えば、最初の2行を削除し、その次の段落は入浴以外のことも含んだ表現としてはどうか。           |
| 事務局（環境企画課長）  | タイトルとあわせて最初の2行を中心に見直したい。   |
| 議長（西村会長）     | 誤解のないよう気を付けて検討いただきたい。  |
| 永幡委員         | 添書の表現だが、「従前よりも踏み込んだ「1.5℃」に抑える努力」とあるが、「踏み込んだ」の後に、「気温上昇を」という一言を加えた方がわかりやすいと考える。  |
| 議長（西村会長）     | そのように修文したい。  |

|             |  |
|-------------|--|
| 渡邊委員        | 附帯意見1について、「杜の都」の恵みの享受による適応策」が何を指すのか不明確である。ここは「杜の都」の恵みの享受など」として、「適応策」という言葉は附帯意見2に分けてはどうか。   |
| 議長（西村会長）    | そのように修文したい。<br>このほかの答申案と附帯意見の修正に関しては、ご一任いただきました、事務局と調整のうえ修正したいが、よろしいか。<br>（「了解」の声あり）<br>それでは、そのようにさせていただきます。<br>本日の審議はここまでとするが、事務局から何かあるか。 |
| 事務局（環境企画課長） | 本日のご意見をもとに答申案等を調整させていただき、1月20日午後、西村会長及び中静副会長に出席いただき、市長に答申したい。  |
| 議長（西村会長）    | 以上で本日の審議会の議事を終了する。<br>審議の円滑な運営にご協力いただき感謝する。  |

平成28年3月30日

仙台市環境審議会会長

氏名 西村 修

仙台市環境審議会委員

氏名 佐野 好昭